

わたしたち、社会福祉法人玉柏会は、地域社会の中で「ともに生きる」ことによる「しあわせ」を目指していきます。



玉 柏 会



令和元年5月2日 撮影

『うしおワークチーム』 VS 『央原荘』 ティーボール交流試合 （於：央原荘 グラウンド）

特集：令和元年度 社会福祉法人玉柏会の活動方針

目 次

特集：令和元年度 玉柏会 活動方針 理事長より	2
「ご利用者の安全・安心のために」・れ「玉柏会本部の活	3
玉柏会 各事業所 活動方針	4
職員研修報告	5
アクアリウム/ご利用者紹介/職員紹介/ミニ運動会	6
摂食嚥下の取り組みについて/すずちゃんのひとり言	7
平成30年度 決算報告/相談支援/行事予定	8



社会福祉法人 玉柏会

本部 央原荘 みすず
かりん かしわ寮 すずらん

〒424-0301

静岡県静岡市清水区央原362番地

☎054-394-0311 FAX 054-394-0312



「仏作って魂入れる」

「仏作って魂入れず」とは、一番肝心なものが抜け落ちていくことのたとえ。仏像を作っても作った者が魂を入れなければ単なる木や石と同じであることから転じて物事は仕上げが最も重要であり、それが欠けたときは作った努力も無駄になるということです。

各組織では、理念や決めごと、目指す目標がスローガンとして掲げられていますが、掛け声倒れに終わっていることが、ままあります。それは正に魂が入っていない証拠です。即ち、それが何のために(what for)定められたのかが明確でなかったり、具体的に行動に落とし込んでいなかった結果です。又、折角魂を入れても時とともに薄らいだり、忘れてしまったりすることもあります。だから常に意識して刷り込みをする必要があります。

玉柏会ではどうでしょうか。津久井やまゆり園の大惨事を教訓に防犯対策を決めましたが、新しい職員にも徹底されているでしょうか。服薬の管理は決めごと通りに実行しているでしょうか。職員行動基準は、虐待防止マニュアルは。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」や「ゆでガエル」になっていないでしょうか。もう一度立ち止まって振り返ってみることが大切だと思います。



社会福祉法人玉柏会
理事長

海野和雄

今年度は従来から実施してきた活動をもう一段深掘りすると共に対象ご利用者を拡大して、仏に魂を入れて行きます。3つの事例を紹介します。

1つ目は自閉症研修チームの活動です。強度行動障害への対応を専門とするコンサルの水野敦之先生による実践的な講習を3年間受けて来ました。この3年間は受講者を特定してきましたが、今年からはその受講者を核にして他の職員にも知識とスキルを伝授して、結果的に対象となるご利用者の数を増やして行きたいと考えています。

2つ目は転倒防止委員会活動です。ご利用者の高齢化に伴い転倒による打撲や骨折の事例が増えています。ご利用者全員を対象に普段の歩行状況や過去の転倒歴、健康状況、筋力状況、骨密度測定等きめ細かく調査観察して記録をとりました。一人一人の状況を把握し直すことによって、その人に合った転倒予防策を実行しています。

3つ目は食環境改善委員会の活動です。同じくご利用者の高齢化に伴い、嚥下や摂食障害の症状が見られる方が増えています。明海大学の大岡貴史教授のご指導を昨年からは受けて、医務担当、支援担当、給食担当職員が協力して食環境改善に取り組んでいます。一人一人の食事の取り方をビデオ撮影し、食べ方や食べる順序、速度等の特徴を把握し、嚥下摂食障害にならないような改善活動をスタートしました。

このように従来からの活動であっても、深掘り拡大することによってご利用者の真の自立に供する活動、即ち「仏作って魂入れる活動」が実現すると確信しています。

以上

●ご利用者の安全・安心のために

常務理事 濱崎宣雄

令和元年度がスタートして3ヶ月が経過しました。振り返ってみますと、昨年度は、法人内において、ご利用者の死亡事故の発生や転倒による骨折事故の増加など、大きなリスクが顕在化した1年でした。

ご利用者の心身の状態や取り巻く環境が変化し続けていく中で、ご利用者の生命や身体を守り、安全で安心な暮らしを支えていくために、本年度はリスクマネジメントを大きな課題として強化してまいります。

具体的には、転倒、虐待、摂食・嚥下、誤薬など、業務上のリスクを6つに細分化し、また防災・防犯対応を加え、計7つのリスク対応の委員会を設置しました。

職員がいずれかの委員会に属し、委員長のもと、1年間の目標を定め、それぞれが役割を持ち、取り組んでおります。これら活動によって、ご利用者が安全に生活し、保護者の皆様が安心できるような環境を目指してまいります。

また、ご利用者に直接関係する、これら業務上のリスク、災害等リスクのほかに、法人を取り巻くリスクとして、経営リスク・存続リスクがありますが、これらに対しても法人として適切に対応していくことが、結果として「ご利用者の安全・安心」にもつながっていくと考えています。

●令和元年度の玉柏会本部の活動

総務部次長 小長谷英春

平成30年度は、1、人事制度の構築 2、人材確保と育成 3、広報活動 4、法令順守を目標に掲げ動いてきました。

人事制度については“玉柏会の働き方改革”として等級別の職務の明確化やキャリアパスなどの制度の構築などを行い、今年度から導入しました。

人材確保と育成については、内部研修の充実や資格取得促進を行いました。人材の確保は、広報活動を兼ねて幅広い年齢層の方が、実習や見学など玉柏会の事業所に来ていただくことができ、人材確保につながりました。

今年度は、1、新規事業の展開 2、広報活動と人材確保 3、人材育成 4、法令順守となっています。

新規事業の展開としては、人材の確保と人材の育成なども含めたプロジェクトとなっています。地域に必要な支援で私たちができることは何か？地域の様々な障害者支援事業所などを訪問しながら、検討を進めていきます。

玉柏会各事業所の活動方針



中央荘 令和元年度 活動方針

中央荘では、①グループ活動 ②役割の遂行 ③リスクマネジメント ④専門性の向上 の4つが大目標です。

①グループ活動では、生活全般において、ご本人の状況や想いを組み入れ、反映した支援ができる様、目標としました。②役割の遂行では、職員の役割として、ご利用者の担当・委員会・行事の担当等があり、目標や現状を説明することで、協力し合えると思い設定しました。③リスクマネジメントでは、近年、高齢化・重度

化による事故等の増加から、事故やヒヤリハットの状況を検証し、現状を考える必要性を感じ設定しました。④専門性の向上では、高齢化・自閉症スペクトラム(強度行動障害)へ対応する学習をし、高齢化では、健康や食事面に、自閉症スペクトラムでは、ご本人にわかりやすい提示と個の対応を目指し、その時の最善が尽くせるよう進めて参ります。

(支援課長 齋藤雅志)

みすず 令和元年度 活動方針

ご利用者の生活力の向上に繋がる事業所内外の活動として、日頃の作業以外に季節感を重視した活動を設けて参ります。また、地域貢献・地域交流において他事業所・団体様等の交流の場に参加していくと共にご利用者の地域生活に合わせた活動案内や充実のきっかけ作りを提供して参ります。さらにリスク管理については、「ご利用者の現状から」「地域性から」

「福祉サービス上から」のリスクを掲げ、ご利用者の「安心・安全」に努めて参ります。

そして、みすず職員が各役割を持ち、各々目指す専門知識と必要となる知識を研修等さらに深め、習得内容を日々の業務に活かしていきます。

(みすず管理者 鈴木利往)

かしわ寮 令和元年度 活動方針

今年度のかしわ寮の活動は、昨年度の活動より更に改善を繰り返し、継続した支援を行って参りたいと考えています。その中でも以下の2点を重点に活動していきたいと思っています。

①障害への理解と人権に配慮した支援を行っていきます。内外の活発化した研修に参加し、かしわ寮での会議を通してフォローアップし、消化しやすい環境づくりを行い、専門的支援の向上に繋げていきます。

ます。

②リスク管理として職員による救急救命の訓練及びご利用者のみでのトラブル時の対応訓練を行います。

以上は今のご利用者特に必要な最低限度だと認識し、それ以外でもご利用者の自己決定やその先の自己実現できる場である様に日々精進して参りたいと思います。(かしわ寮世話人 土井友員)

すずらん 令和元年度 活動方針

いわゆる「計画相談」が法制化されて丸4年が経ちました。この間、市内各所に様々な福祉事業所が展開し、多くの方々がサービスを利用されています。しかし、相談支援事業所と相談支援専門員の数は、ほとんど増えていません。福祉業界の人材不足が深刻化している中、福祉サービスとご利用者をつなぐ役割を担っている相談支援専門員の不足は、更に深刻な問題です。

すずらんでは、他の機関との連携を図りながら、業務の効率化を図り、福祉サービスを利用されている皆様の安心・安全な生活を支えながら、より相応しいサービスとのマッチングを目指していきます。

また、必要に応じた資源の開発にも関わっていったらと考えております。

(管理者兼相談支援専門員 遠藤智一)

令和元年度 職員研修報告 1



チームリーダー研修を受講して

男性Cグループリーダー 鈴木執斗



4月、5月にチームリーダー研修を受講してきました。研修では、参加型の研修が取り入れられており、『進んで発言する』『人の話に耳を傾ける(傾聴)』『時間を意識する』という3つの約束(職業人として大切な3つのスキル)が設けられていました。上記の3点が研修受講には必須となっており、私自身戸惑いがありましたが、研修を受講していく中で、自分の意見を持つ事、意見を主張する事、考えや意思をまとめ進んで発言する事の必要性、重要性を知ることが出来ました。また研修前は、リーダーの役割や求めること、どのような立場なのか疑問が多くありましたが、研修を通して、役割・姿勢、職員指導に用いるティーチング、コーチング技法、職員間での習得すべきコミュニケーション姿勢など多くのことを学びました。

今回学んだことを現場に出る際に、再確認し、リーダーであるという自覚をもって、ご利用者支援を行っていきます。またチームリーダーとして常に新しい知識・技術習得を積極的に行ない、チームのモデルとして相応しいリーダーを目指していきます。

職員研修報告 2



「高齢者のリスクマネジメント」を受講して

生活支援員 稲葉亜紀

先日、高齢者施設のリスクマネジメント講座を受講させていただきました。多くの施設でヒヤリハットシートの活用はされているものの事故減少には繋がっていないのが現状で、その要因は事例から考えられる原因を1つと決める事であると講師の指摘を受けました。

講師の考案した原因分析法からリスクを恐れ失敗を隠すのではなく、多くの事例を知り職員間での情報共有を徹底し、利用者の居心地良い環境作りが事故防止にも繋がると学びました。

職員研修報告 3



『コーチング研修』を受講して

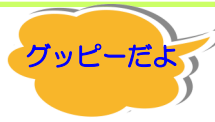
生活支援員 高瀬 賞

今回受けたコーチング研修では、コーチングの目的、心構え、カウンセリングとの違いについて、また、指導に生かせるコーチングのスキルとして、コーチングを受ける人からの話の聞き方とメッセージの伝え方の座学をやり、1人ひとりを主役としたコーチングの体験(グループワーク)を行いました。

今回の研修を通して、今まで私は答えを教えるティーチングしかできておらず、課題に対しての答えを自分で見つけさせるコーチングまでできていないことを実感しました。今後この研修で学んだコーチングのスキルを活かして、新入社員の自立度を上げられるようにしていきます。



アクアリウム登場



お手入れも頑張っています!

中央荘3階の水槽に熱帯魚が入りました。昨年より、自立支援として飼育活動しています。熱帯魚と水草の鑑賞、成長の様子も観察しながら、楽しく活動しています。中央荘にお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい!



新人職員・退職職員 のご紹介です



H31.4.1 入社



秋山隆之助(中央荘)
あきやま りゅうのすけ

障がいに関する基礎的知識から学び、一人一人に合った支援を探し、一日も早く戦力になれるようにしたいです。



蜂須賀文菜(中央荘)
はちすか あやな

日々の仕事全てがまだ未熟ですが、ご利用者の皆様に日常生活を安心して過ごして頂き、余暇支援等も楽しんで頂けるよう真摯に努力して参ります。

R元.6.28 入社



塩澤 彰(中央荘)
しおざわ あきら

私は全くの他業種からの転職になりますが、今までの経験を生かし、そして新しい事を吸収して頑張ります。

R元.6.30 退社



小田弓子(中央荘)

中央荘で諸先輩・同僚の皆様と共に仕事をさせて頂き心より感謝申し上げます。明るい楽しい職場で一緒に働けた事を誇りに思います。本当に有難うございました。

入所・通所・退所のご利用者

- 《中央荘・入所》
- 3月 松浦さん、4月 長倉さん
- 5月 渡邊さん
- 《みすず・利用開始》
- 2月 中上さん
- 4月 池端さん、風間さん
- 【中央荘 退所】
- 4月 池田さん、5月 種石さん

第一かしわ寮 自慢の利用者

第一かしわ寮で生活し始めて8年になる長澤幸子さんは、以前は少々内向的でお礼を言うのが得意ではありませんでした。しかし、かしわ寮で自立した生活や、青年学級等の外部との余暇活動、また世話人さんとの会話により、感謝の気持ち『ありがとう』が自然に相手に伝えられるようになりました。

当たり前の支援から、その言葉で信頼関係を感じています。自慢のご利用者の一人です。

(就労グループ支援係長 鈴木清張)



はじめての 中央荘 & みすず 交流ミニ運動会!!!

R元.5.27

みすずとかりんのご利用者の交流として、ミニ運動会を行いました。天気も良く心地よい風が吹く、絶好の運動日和。☀

午前はじゃんけん列車と順送球、午後は玉入れとお菓子取りを行いました。

お昼は両事業所混ざって同じお弁当を食べ、ご利用者間の仲も深まったようです。

午後の競技もより楽しそうで、楽しかったから、またやりたい! との声が聞かれました♪

じゃんけん列車、じゃんけんポン!



青空で、きもちいい〜!!

「ご利用者の摂食嚥下の取組について」

～摂食嚥下委員会 看護師：山本和子～

大岡教授のミールラウンドから

当施設でも高齢化が進み機能低下などが問題となりつつあり、健康寿命を延ばすためにもできる限り自分の口から食べる事が大切と感じています。むせや早食い、咀嚼が出来ないなどの摂食嚥下機能に問題のあるご利用者も多く見られるようになり、摂食嚥下機能の向上のために食形態の改善を試みました。

まず始めにミールラウンドで、咀嚼、飲み込み、むせ等の問題のあるご利用者の観察と状況把握し何度か変更しながら個々に合った食形態に変更していきました。当施設の厨房は委託業者ですが快く協力していただき、とても感謝しています。



ミールラウンドの様子



一口食：(ウェルビーフードシステム様提供)

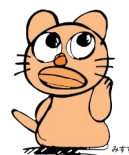
その結果、主食は常食、粥、ペーストの3種類、副食は常食、一口、刻み、超きざみ、ペーストの5種類に増やし、主食と副食の組み合わせは自由な形に出来るようにし選択肢を多くしました。

さらに、他施設での取り組みを学ぶために歯と口の健康支援センターの歯科医師を通じて、つばさ静岡様へ施設長と共に見学に行かせていただきました。

つばさ静岡様での食形態を参考にその後ムース食と刻みのトロミがけを新たに加え、職員を対象に試食会を実施し、それぞれの形態の食べやすさやのみ込みやすさなどを実際に体験してもらいました。これまでは個の活動でしたが、昨年より歯と口の健康支援センターの歯科医師と明海大学の大岡教授にご指導を頂きながら勉強会やミールラウンドを通して職員の摂食嚥下に関する知識の向上を目指しています。

また、今年度からは荘全体での取り組みとして委員会での活動が始まりました。今後もご利用者の美味しく、楽しく、安全な食生活のために引き続き取り組んでいきたいと思っています。

すずちゃんのひとこと



吾輩が気になっている事！

其の1、新しいご利用者が元気一杯な事！（2名が新たに加わって毎日頑張っているのだ）

其の2、行事のある度に次がどうなるのか！？
（今までとは違う内容が新鮮なのだ）

其の3、吾輩の出番が減っているような…（そう、クッキー・どら焼き以外でも活躍したいのだ、オリジナル商品できないかなあ…）
（すず）

のぼりが目印、青空市！
（吾輩は招き猫!?）



平成30年度 決算報告



社会福祉法人 玉柏会

平成30年度は、労働基準法改正による人事制度改革や法人の広報活動の活発化を含めた人材確保に力を入れてきました。人事制度改革などは、社労士のアドバイザー契約をしました。広報活動では、就職媒体との契約などで費用が増加しました。

計画策定時の社会福祉充実残額は、65,000千円である為、来期は充実化計画の計画変更を行う可能性があり、新規事業の立ち上げとともに計画の変更を行っていきたいと考えています。（小長谷 英春）

貸借対照表の要旨

平成31年3月30日現在

(単位:千円)

科 目	金 額
資 産 の 部	
流動資産	535,391
固定資産	1,408,272
（基本財産）	1,175,574
（その他の固定資産）	232,698
資産の部合計	1,943,663
負 債 の 部	
流動負債	56,352
固定負債	241,095
負債の部合計	297,447
純 資 産	
基本金	153,641
国庫補助金等特別積立金	607,291
その他の積立金	108,539
次期繰越活動増減差額	776,745
（うち登記活動増減差額）	50,831
純資産の部合計	1,646,216
負債及び純資産の部合計	1,943,663

事業活動計算書の要旨

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額
サービス活動増減の部	サービス活動収益 564,836
	サービス活動費用 514,418
	サービス活動増減差額 50,418
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益 3,901
	サービス活動外費用 3,489
	サービス活動外増減差額 412
経常増減差額	50,830
特別増減の部	特別収益 9,546
	特別費用 9,546
	特別増減差額 0
当期活動増減差額	50,830
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額の部 725,915
	当期末繰越活動増減差額 776,745
	次期繰越活動増減差額 776,746

資金収支計画書の要旨

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額
事業活動による収支	事業活動収入 568,738
	事業活動支出 486,395
	事業活動収支差額 82,343
施設整備等による収支	施設整備等収入 9,546
	施設整備等支出 36,364
	施設整備等資金収支差額 -26,818
その他活動による収支	その他の活動収入 579
	その他の活動支出 938
	その他の活動収支差額 -359
当期資金収支差額合計	55,166
前期末支払い資金残高	454,590
当期末支払資金残高	509,756



8月31日(土)
青空市(みすず)

8月3日(土)・4日(日)
清水みなとまつり

みすず



8月14日(水)
大原盆まつり
(大原小学校)

8月3日(土)・4日(日)
清水みなとまつり

7月23日(火)
イベントデー(イオン清水)
8月20日(火) 周年祭!!!
抽選会、体験コーナーもあるよ!!!

大原



7月20日(土)
第44回 納涼大会
【時間・場所】
17時より 大原荘にて

法人



8月までの予定

ご相談は、下記の電話へどうぞ!

電話

054-369-5688

FAX

054-340-3566

E-Mail

endo@tamagashikai.com

すずらん



頭の体操♡わかるかな
問 フランスのパンはフランス
パン。日本のパンは何パン?

【この記事に関するご意見やお問い合わせは】

電話:054-394-0311

FAX:054-394-0312

E-mail sisiharaso@po4.across.or.jp

QRコード



玉柏会では皆様のお声をお待ちしております。